

HPをご覧の皆さま

いつもお世話になり ありがとうございます。
ございます。

石井ひでたけ
です！

石井ひでたけホームページ
<http://www.ishihidetake.net>

みるみる 通信



兵庫県議会議員
石井ひでたけ県政報告
vol. 39 2010年4月号
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球



発行元: 石井ひでたけ事務所

For The Future

平成22年度の県予算決まる！

HPをご覧の皆様方、春風が心地よい季節、いかがお過ごしでしょうか？

今年は桜の開花も早く、例年花粉症に悩まされる時期にもかかわらず、幸い軽症で、比較的快適な日々を送ることができ、私にとっては異常気象がかえってプラスに作用し精力的に活動することが出来ています。また、私のホームページでは携帯から日々の活動をブログで更新するようになりましたので、一度アクセスしてみてください。

さて、標記の通り県財政状況が大変厳しい中、平成22年度の県予算が議決されました。今回の予算の特徴は、本格的な人口減少社会の到来を目前に控え、成熟社会にふさわしい21世紀の兵庫を創りあげていくため、「兵庫の自立」、「多様性の発揮」、「家庭と地域の再構築」、「参画と協働の推進」、「庁内自治の確立」の5つの基本姿勢のもと、元気で安全安心な兵庫づくりを推進し、新行革プランを基本に「選択と集中」を図り、予算を編成しています。



～もっと身近に県政を～

＝第304回2月定例県議会報告＝ (2月17日～3月23日開催)

1 平成22年度予算について

平成22年度の予算規模は、一般会計において872億円増の2兆2,045億円となり、特別会計においては758億円減の9,719億円となった。また、公営企業会計において121億円減の1,667億円となった結果、全会計の合計は7億円減の3兆3,431億円となった。歳入歳出予算案については、22人の委員(民主党・県民連合からは、5人)をもって構成する予算特別委員会において審議の上、本会議において議決した。

2 人事案件について

副知事(総務省財政担当の審議官で以前に県企画管理部長を務めていたことのある金澤和夫氏)の人事について同意した。

3 議決案件について

(1) 意見書・決議の議決(下記の8件を議決)

以下の意見書・決議を議決した。

「食の安全・安心の回復に向けた食品表示制度の改正を求める意見書」

「離婚・別居後の親子の面会交流に関する環境整備を求める意見書提出」

「核兵器廃絶と恒久平和の実現に関する意見書」 「地方議会の権能拡充を求める意見書」

「小中学校の耐震化予算の確保を求める意見書」 「地方消費者行政の充実、強化を求める意見書」

「介護保険制度の抜本的な見直しを求める意見書」

「大阪国際空港の存続と関西3空港の有効利用を求める決議」

(2) 請願の採択

新たに提出された6件と継続審査を行っている6件の計12件の請願について審査した結果、「食の安全・安心の回復に向けた食品表示制度の改正を求める意見書提出の件」など計3件を採択とし、5件を継続審査、4件を不採択とした。

(3) その他

平成21年度補正予算・22年度当初予算など予算案件46件、「兵庫県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」の一部改正など条例案件27件、行財政構造改革推進方策の変更、公の施設の指定管理者の指定など事件決議案件等21件を可決した。

4 代表質問及び一般質問について

今定例会では、3人が代表質問を、また15人が一般質問を行った。(民主党・県民連合からは、代表質問1人、一般質問3人)



「大阪国際空港の存続と関西3空港の有効活用を求める決議」

大阪府議会が「中長期的に伊丹廃港」を検討する決議を模索する中、急遽、兵庫県議会において上記の決議が提案されました。私は平成15年初当選の最初の一般質問で関西復権プロジェクトについて質問し、22世紀型の近未来都市の適地として伊丹空港を例示した経緯もあり、今回の決議には賛同できず、退席いたしました。自分の信念を貫くのは大変勇気がいることだと改めて感じました。

＝編集後記＝

12月の国際青島太平洋マラソン以来、4ヶ月ぶりにハーフマラソンに参加しました。これから体を動かすいい季節を迎えますので、時間を見つけて登山に自転車にジョギングにチャレンジしたいです。今号の裏面には私の仲間である「みはしまき」さんを紹介しています。是非、裏面もご覧ください。

国民の生活が第一。さあ政策実現。

2010年度国の予算決定 「コンクリートから人へ」予算に反映



政権交代後初めて国の予算が成立しました。民主党が唱える「コンクリートから人へ」が色濃く反映された予算となりました。

予算規模を示す一般会計の総額は、昨年度比4.2%増の92兆2992億円で、過去最大の規模となりました。公共事業費は、同18.3%減で、削減率、削減額とも過去最大規模。一方、社会保障費は、同9.8%増で、一般歳出に占める比率では初めて50%を超えることに。これは「子ども手当」に加え、地域医療を立て直すために診療報酬全体改定が10年ぶりにプラス改定されるなど、「人」に手厚く予算が配分された結果です。また、文教・科学振興費が5.2%増と大幅に伸びたことも、鳩山政権の特色を示しています。

2010年予算で、暮らし、こう変わる。公共事業費を18%削減!!

金額は、暫定税率が減税効果、ほかは当初予算額。



子ども手当 1兆7465億円
中学生以下の子ども一人に月1万3千円(11年度以降は倍)を支給。所得制限はない。



農家の戸別所得補償 5618億円
コメ生産数量目標に即して生産する販売農家に生産コストと販売価格の差額を支給。



高校の実質無償化 3933億円
公立高校生の授業料はとらない。私立高校生には年12万円(低所得者は上乘せ)を支給。



暫定税率の見直し 1660億円
自動車重量税の国税分の暫定税率を半減。



高速道路の無料化 1000億円
割引率の順次拡大などの「試行」で影響を確認しつつ、段階的に実施。



年金記録問題 900億円
紙台帳とコンピューター記録との突き合わせ、インターネット版の年金通帳の導入など。



雇用対策 170億円
非正規労働者への雇用保険の適正範囲の拡大など。

マニフェスト実行のために
必要な財源 合計**3.1兆円**

子どもの命と夢を守る

すべての子どもは無限の可能性を秘めています。子どもたち一人ひとりの命や健康を守り、家庭環境や経済力などの条件に縛られずに、自分のやりたいことに、「のびのび」と取り組める環境を作ります。

- 子育て家庭に対する経済的支援の充実
- 教育機会の保障
- 児童相談所や児童養護施設などの支援体制の充実

働く人の生活を守る

真面目に働く人が普通の生活を送れない今の日本は病んでいます。働く人の権利を真に保障する仕組みを作り、若者が将来に希望を持つことができるよう、「使い捨て」ではない、良質な雇用の場を確保します。

- 派遣や有期労働などの「使い捨て」に対する規制強化
- 若年層から中高年層までの職業能力開発支援の充実
- 過労死の撲滅、メンタルヘルス対策の推進

安全・安心な医療体制の確立

国民一人ひとりの尊厳と命と健康を守り、充実した生涯を送れるようにするため、「いつでも安心して受けることができる」安全な医療サービスの提供体制を確立し、先進医療技術の研究に対する支援を拡充します。

- 医師確保対策の推進
- 先進医療技術・医薬品開発の研究に対する支援強化
- 将来にわたって国民皆保険を維持するための医療保険制度の見直し

生涯を通して「自分らしさ」を 発揮できる社会づくり

経済的な困窮、障がい、老化による体の衰えなど、一人ひとりの「生きづらさ」を公的制度でカバーし、生涯を通して、国民一人ひとりが自分らしく元気に生きることができる仕組みを作ります。

- 障がい者の権利擁護の推進
- 介護サービス基盤の拡充
- 福祉・介護サービス従事者の処遇改善

日々の活動、詳しい政策などは
みはしまきのホームページへ。

<http://www.mihashimaki.net>

みはしまき

検索

The Democratic Party of Japan
民主党 みはしまき

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目10-1
TEL:078-332-0384 FAX:078-332-5384
E-mail:office@mihashimaki.net

人と、未来と、政治と。つなぐ三つのかけ橋



三橋真記
みはし まき
プロフィール
兵庫県参議院
第4総支部長

昭和52年9月30日
生まれ (32才)

平成8年3月
私立桜蔭高校卒

平成13年3月
東京大学経済
学部経済学科卒

平成13年4月
厚生労働省入省
(健康局国立
病院部企画課、
大臣官房総務課、
職業安定局地域
雇用対策室、
労働基準局
監督課に配属)

平成18年4月
伊丹市役所に出向
(総合政策部
政策室主幹、
こども部
こども室長)

平成21年4月
総務省に出向
(自治行政局
公務員部公務員課
課長補佐)

平成22年2月
厚生労働省を退職
(2月24日付け)

●民主党国会議員
候補者公募に合格

●伊丹市在住

●趣味:
食べ歩き・カラオケ

●好きな食べ物:
うどん

プ
ロ
フ
ィ
ー
ル

石井 秀武 (いしい ひでたけ)

昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
昭和中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗(16315票)
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(23129票)
平成19年、再選(24881票)

〔現在〕兵庫県議会議員(2期目)

総務常任委員会 委員 兵庫県都市計画審議会 委員
民主党兵庫県総支部連合会 副幹事長 兵庫民社常任幹事
兵庫県宅地建物取引業協会会員 明石市柔道協会 理事
兵庫県自転車競技連盟 顧問 社会福祉法人 相談役 他
〔趣味〕ドライブ 自転車 登山(日本100名山挑戦中)
家庭菜園 他

石
井
ひ
で
た
け
事
務
所

〒651-2133
神戸市西区枝吉1丁目215番地
E-mail:voice@ishiihidetake.net
TEL / 078-920-2200
FAX / 078-920-2211

ど
ん
ど
ん
ご
意
見
・
ご
要
望
を
お
寄
せ
下
さい。

県政のご相談・お問い合わせは
事務所まで。必ずご氏名・ご連絡
先をお知らせください。

